

(様式第9)

岡大病総第150号
平成23年9月30日

厚生労働大臣

殿

岡山大学病院長
横野 博

岡山大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

| | | |
|--------|------|---|
| 研修医の人数 | 83.3 | 人 |
|--------|------|---|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種 | 常勤 | 非常勤 | 合計 | 職種 | 員数 | 職種 | 員数 |
|-------|------|------|--------|---------|-----|-------------|------|
| 医師 | 251人 | 279人 | 456.4人 | 看護補助者 | 49人 | 診療エックス線技師 | 0人 |
| 歯科医師 | 101人 | 82人 | 146.2人 | 理学療法士 | 20人 | 臨床検査技師 | 64人 |
| 薬剤師 | 57人 | 0人 | 57.0人 | 作業療法士 | 5人 | 衛生検査技師 | 0人 |
| 保健師 | 0人 | 0人 | 0人 | 視能訓練士 | 8人 | その他 | 0人 |
| 助産師 | 17人 | 2人 | 18.2人 | 義肢装具士 | 0人 | あん摩マッサージ指圧師 | 0人 |
| 看護師 | 814人 | 25人 | 829.5人 | 臨床工学技士 | 19人 | 医療社会事業従事者 | 6人 |
| 准看護師 | 0人 | 0人 | 0人 | 栄養士 | 0人 | その他の技術員 | 17人 |
| 歯科衛生士 | 15人 | 1人 | 15.7人 | 歯科技工士 | 7人 | 事務職員 | 278人 |
| 管理栄養士 | 6人 | 0人 | 6.0人 | 診療放射線技師 | 44人 | その他の職員 | 82人 |

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

| | 歯科等以外 | 歯科等 | 合計 |
|--------------|----------|--------|----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 676.2人 | 18.6人 | 694.8人 |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,681.4人 | 621.4人 | 2,302.9人 |
| 1日当たり平均調剤数 | 1,276.1剤 | | |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

| | | | |
|---|---------|-------|-----|
| 医療技術名 | 生体部分肺移植 | 取扱患者数 | 2人 |
| 当該医療技術の概要 肺移植は末期肺疾患に対する有効な治療法である。健康な2人のドナーから肺の一部の提供を受け、レシピエントに移植する。1人目のドナーから右下葉を、2人目のドナーから左下葉を摘出し、それぞれをレシピエントの右肺、左肺として移植する術式である。 | | | |
| 医療技術名 | 生体部分肝移植 | 取扱患者数 | 20人 |
| 当該医療技術の概要 肝移植は末期肝疾患並びに急性肝不全(劇症肝炎など)に対する有効な治療法であり、当院では豊富な経験のもとに良好な実績を積んでいる。 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |
| 医療技術名 | | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 | | | |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名 | 取扱患者数 | 疾患名 | 取扱患者数 |
|--|-------|---|-------|
| ・ベーチェット病 | 130 人 | ・膿疱性乾癬 | 10 人 |
| ・多発性硬化症 | 68 人 | ・広範脊柱管狭窄症 | 10 人 |
| ・重症筋無力症 | 131 人 | ・原発性胆汁性肝硬変 | 89 人 |
| ・全身性エリテマトーデス | 275 人 | ・重症急性膵炎 | 12 人 |
| ・スモン | 12 人 | ・特発性大腿骨頭壊死症 | 100 人 |
| ・再生不良性貧血 | 54 人 | ・混合性結合組織病 | 41 人 |
| ・サルコイドーシス | 130 人 | ・原発性免疫不全症候群 | 11 人 |
| ・筋萎縮性側索硬化症 | 67 人 | ・特発性間質性肺炎 | 36 人 |
| ・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎 | 222 人 | ・網膜色素変性症 | 43 人 |
| ・特発性血小板減少性紫斑病 | 65 人 | ・プリオン病 | 3 人 |
| ・結節性動脈周囲炎 | 78 人 | ・肺動脈性肺高血圧症 | 46 人 |
| ・潰瘍性大腸炎 | 306 人 | ・神経線維腫症 | 41 人 |
| ・大動脈炎症候群 | 34 人 | ・亜急性硬化性全脳炎 | 1 人 |
| ・ビュルガー病 | 23 人 | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群 | 5 人 |
| ・天疱瘡 | 42 人 | ・慢性血栓塞栓性肺高血圧症 | 10 人 |
| ・脊髄小脳変性症 | 99 人 | ・ライソゾーム病 | 3 人 |
| ・クローン病 | 118 人 | ・副腎白質ジストロフィー | 4 人 |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎 | 11 人 | ・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体) | 1 人 |
| ・悪性関節リウマチ | 29 人 | ・脊髄性筋萎縮症 | 4 人 |
| ・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病) | 378 人 | ・球脊髄性筋萎縮症 | 8 人 |
| ・アミロイドーシス | 9 人 | ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎 | 11 人 |
| ・後縦靭帯骨化症 | 103 人 | ・肥大型心筋症 | 12 人 |
| ・ハンチントン病 | 3 人 | ・拘束型心筋症 | 0 人 |
| ・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症) | 90 人 | ・ミトコンドリア病 | 5 人 |
| ・ウェゲナー肉芽腫症 | 16 人 | ・リンパ脈管筋腫症(LAM) | 11 人 |
| ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症 | 109 人 | ・重症多形滲出性紅斑(急性期) | 1 人 |
| ・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群) | 58 人 | ・黄色靭帯骨化症 | 3 人 |
| ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型) | 5 人 | ・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症) | 127 人 |

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類 | 施設基準等の種類 |
|-----------------------|----------|
| ・胎児心超音波検査 | ・ |
| ・生体部分肺移植 | ・ |
| ・乳がんセンチネル検査 | ・ |
| ・悪性黒色腫センチネル検査 | ・ |
| ・歯周組織再生誘導法 | ・ |
| ・接着ブリッジによる欠損補綴及び動揺歯固定 | ・ |
| ・強度変調放射線治療 | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |
| ・ | ・ |

6 病理・臨床検査部門の概要

| | |
|-------------------------------------|---|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況 | ①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 【病理診断部門】 ・剖検症例検討会 月1回程度 ・消化器内科+消化管外科とのカンファレンス 週1回程度 ・乳腺・内分泌外科とのカンファレンス 年4回程度 ・脳神経外科との脳腫瘍カンファレンス 月1回程度 ・婦人科との婦人科腫瘍カンファレンス 週1回程度 【臨床検査部門】 ・総合診療内科との症例検討会 月1回程度 |
| 剖 検 の 状 況 | 剖検症例数 19 例 / 剖検率 8.6 % |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(1/9)

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|--------------|-------------|------------------------|
| 肝癌進展と血管新生の新規メカニズム | 白羽 英則 | 消化器内科 | 千円 1,100 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎及び臨床的研究 | 山本 和秀 | 消化器内科 | 800 | 補 厚生労働科学研究 委 研究費補助金 |
| 肝がんの新規治療法に関する研究 | 山本 和秀 | 消化器内科 | 2,000 | 補 厚生労働科学研究 委 研究費補助金 |
| 肝癌化学療法早期治療効果予測 | 能祖 一裕 | 消化器内科 | 950 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 制御性T細胞とTh17細胞を標的とした慢性移植片対宿主病治療の開発 | 前田 嘉信 | 血液・腫瘍内科 | 1,300 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| CD40活性化B細胞の抗原処理、提示能および抗原特異的T細胞誘導能の検討 | 近藤 英生 | 血液・腫瘍内科 | 1,235 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 非喫煙者肺癌モデルを用いた細気管支肺胞上皮癌より浸潤癌への進展機構の解明 | 瀧川 奈義夫 | 呼吸器・アレルギー内科 | 1,170 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| アレルギー性気道反応における経口免疫寛容の効果 | 宮原 信明 | 呼吸器・アレルギー内科 | 1,300 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 上皮成長因子受容体遺伝子変異陽性肺癌の根治治療開発を目指した動物実験モデルの樹立 | 木浦 勝行 | 呼吸器・アレルギー内科 | 1,500 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 重症喘息におけるアレルギー性好中球性気道炎症の機序の解明と新規治療薬の開発 | 金廣 有彦 | 呼吸器・アレルギー内科 | 1,560 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 難治性血管炎に関する調査研究 | 榎野 博史 | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 | 48,000 | 補 厚生労働科学研究 委 研究費補助金 |
| ANCA関連血管炎の我が国における治療法確立のための多施設共同前向き臨床研究 | 榎野 博史 | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 | 750 | 補 厚生労働科学研究 委 研究費補助金 |
| 進行性腎障害に関する調査研究 | 榎野 博史 | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 | 2,000 | 補 厚生労働科学研究 委 研究費補助金 |
| 糖尿病性腎症治療ターゲットとしての核内受容体の研究 | 榎野 博史 | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 | 9,500 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 生体系物質科学の創生と医科学への応用 | 榎野 博史 | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 | 2,000 | 補 特別配分経費/学 委 内COE経費 |
| Vaspinのメタボリック症候群における意義 | 和田 淳 | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 | 4,100 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 慢性腎臓病におけるVasohibinの機能的意義の解明と治療応用 | 前島 洋平 | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 | 1,100 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 糖尿病性腎症における核内受容体LXRの分子機構の解明と治療応用 | 小川 大輔 | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 | 1,600 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| SHP-1をターゲットとした腎性貧血治療の可能性についての検討 | 赤木 滋 | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 | 1,800 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(2/9)

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|--------|--------------|-----------|-----------------------|
| 難治性血管炎に関する調査研究 | 佐田 憲映 | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 | 千円 900 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 早期再分極(early repolarization)症候群の病態と遺伝基盤、長期予後に関する研究 | 草野 研吾 | 循環器内科 | 2,000 | 補 委 厚生労働省科学研究費補助金 |
| ALSの分子メカニズムの解明と遺伝子・再生療法 | 阿部 康二 | 神経内科 | 3,600 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| オートファジーの分子イメージングと再生 | 阿部 康二 | 神経内科 | 1,800 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| PTD融合タンパクを用いた脊髄小脳変性症の画期的治療法の開発と新規原因遺伝子同定 | 池田 佳生 | 神経内科 | 800 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 非翻訳リピート病-SCA10・DM2異常伸長リピートRNAの代謝制御 | 松浦 徹 | 神経内科 | 8,500 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究 | 阿部 康二 | 神経内科 | 600 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究 | 阿部 康二 | 神経内科 | 1,000 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 神経変性疾患に関する調査研究 | 阿部 康二 | 神経内科 | 1,200 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 筋萎縮性側索硬化症の病態に基づく画期的治療法の開発 | 阿部 康二 | 神経内科 | 900 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| スモンに関する調査研究 | 阿部 康二 | 神経内科 | 800 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| プリオン病及び遅発性ウイルス感染症の調査研究 | 阿部 康二 | 神経内科 | 1,000 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 運動失調症に関する調査研究 | 池田 佳生 | 神経内科 | 1,500 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 日本人脆弱X症候群の実態調査研究 | 松浦 徹 | 神経内科 | 1,000 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 筋強直性ジストロフィーのスパライジング異常を補正する既認可薬オフラベル薬効の患者培養細胞・動物実験における検証 | 松浦 徹 | 神経内科 | 3,500 | 補 委 科学技術振興機構 |
| 神経栄養因子を多段階徐放するゼラチン-GPSMを用いた新規慢性期脳梗塞再生医療 | 出口 健太郎 | 神経内科 | 1,000 | 補 委 財団法人先進医薬研究振興財団 |
| 転移型・進行非小細胞肺癌治療のための新規ウイルス製剤及び投与法の開発 | 松岡 順治 | 消化管外科 | 3,380 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| ヒトHER2分子の細胞外ドメインを発現する腫瘍融解ウイルスによる胃癌分子治療開発 | 藤原 俊義 | 消化管外科 | 10,270 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(3/9)

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|-------|-----------|-----------------------------|
| 大腸腫瘍に対する非侵襲的診断方法による総合的診断の確立 | 永坂 岳司 | 消化管外科 | 千円 520 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 食道癌における細胞間接着因子カドヘリンの本質的な役割と新規抗癌剤としての可能性 | 野間 和広 | 消化管外科 | 1,222 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| テロメラーゼ依存性蛍光発現ナノバイオ・ウイルス製剤を標識薬剤とする高感度リアルタイム微小癌転移イメージングシステムの開発 | 藤原 俊義 | 消化管外科 | 46,978 | 補 委 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 光感受性ROS産生蛍光タンパク質を発現する遺伝子改変アデノウイルス製剤を用いた新たな癌の光線力学療法システムの開発 | 藤原 俊義 | 消化管外科 | 14,700 | 補 委 厚生労働省科学研究費補助金 |
| がん治療のための革新的新技術の開発及び臨床応用に関する総合的な研究-がん特異的蛍光発現ウイルス製剤による診断研究 | 藤原 俊義 | 消化管外科 | 4,800 | 補 委 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 大腸癌におけるオキサリプラチンの末梢神経障害に対する漢方薬:牛車腎気丸の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較検証試験(臨床第Ⅲ相試験) | 藤原 俊義 | 消化管外科 | 200 | 補 委 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 人工心肺回路を応用した蘇生肺移植に関する研究 | 大藤 剛宏 | 呼吸器外科 | 4,550 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 肺移植後の再還流障害と急性拒絶反応の病態解明の試み | 山根 正修 | 呼吸器外科 | 3,250 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 肺移植後の虚血再還流障害による移植肺生着阻害に関する研究 | 杉本 誠一郎 | 呼吸器外科 | 4,030 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| マイクロRNA異常の解明による悪性中皮腫に対する新規治療法の開発 | 豊岡 伸一 | 呼吸器外科 | 2,470 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 採血によるアスベスト曝露と中皮腫担癌のスクリーニングチップの開発 | 豊岡 伸一 | 呼吸器外科 | 5,000 | 補 委 岡山県(特別電源所在県科学技術振興事業) |
| ヒト上皮成長因子受容体変異肺癌に対するチロシンキナーゼ阻害剤の効果に関する検討 | 宗 淳一 | 呼吸器外科 | 1,300 | 補 委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 不死化関連遺伝子群によるOncogenic Ras制御と前立腺癌化抑制機構の解明 | 公文 裕巳 | 泌尿器科 | 2,600 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| アポトーシス誘導新規前立腺癌遺伝子治療と放射線療法併用に関する基盤的研究 | 枝村 康平 | 泌尿器科 | 2,080 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 膀胱癌に対する細胞膜透過性ペプチドによるp53ペプチド導入治療法の開発研究 | 渡辺 豊彦 | 泌尿器科 | 1,560 | 補 委 文部科学省科学研究費補助金 |
| がん治療遺伝子REICによるナノバイオ標的医療の創成 | 公文 裕巳 | 泌尿器科 | 26,989 | 補 委 特別電源所在県科学技術振興事業 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(4/9)

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|--------|------|--------------|----------------------------|
| 先端技術創出国際共同研究「アジア人の癌体質と遺伝子治療共同臨床研究」 | 公文 裕巳 | 泌尿器科 | 千円 21,502 | 補 文部科学省科学 委 振興調整費 |
| 骨肉腫における年齢や部位別遺伝子異常の検出と機能的ゲノム解析 | 尾崎 敏文 | 整形外科 | 1,200 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 関節構成体の再生医療における測定プローブの開発 | 阿部 信寛 | 整形外科 | 500 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 変性関節軟骨を三次元的に診断するX線画像撮影法の開発 | 国定 俊之 | 整形外科 | 900 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 3次元培養ペプチドゲルを用いた靭帯損傷に対する内視鏡的治療法の開発 | 古松 毅之 | 整形外科 | 500 | 補 内視鏡医学研究 委 振興財団 |
| 靭帯損傷に対する成長因子徐放化3次元ゲルの応用 | 古松 毅之 | 整形外科 | 500 | 補 岡山医学振興会 委 |
| 膝関節靭帯損傷に対する遺伝子導入法を応用した靭帯組織再生 | 古松 毅之 | 整形外科 | 1,000 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| 遺伝子導入による靭帯組織再生 | 古松 毅之 | 整形外科 | 1,000 | 補 成育医療研究委 委 託事業 |
| 新規骨接着型生体吸収性セメントの薬剤(抗生剤、抗癌剤)徐放能に関する研究 | 杉本 佳久 | 整形外科 | 970 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| トレハロースによる皮膚の乾燥保存に関する研究 | 小松 星児 | 形成外科 | 2,500 | 補 日本学術振興会 委 学術研究助成基金助成金 |
| 異性間における生殖臓器移植と生殖細胞導入の解析 | 難波 祐三郎 | 形成外科 | 2,850 | 補 日本学術振興会 委 学術研究助成基金助成金 |
| ICG蛍光造影法を用いた皮弁血流評価についての研究 | 渡部 聡子 | 形成外科 | 3,500 | 補 日本学術振興会 委 学術研究助成基金助成金 |
| 過酸化水素法による小動物のリンパ系のマクロ解剖とリンパ管変性と再生のメカニズム | 木股 敬裕 | 形成外科 | 2,600 | 補 日本学術振興会 委 学術研究助成基金助成金 |
| 稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究 | 岩月 啓氏 | 皮膚科 | 77,531 | 補 厚生労働科学研究 委 研究費補助金 |
| 難治性血管炎に関する調査研究 | 岩月 啓氏 | 皮膚科 | 900 | 補 厚生労働科学研究 委 研究費補助金 |
| EBウイルス潜伏感染による疾患スペクトラムと病態解明 | 岩月 啓氏 | 皮膚科 | 3,900 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| ウイルス誘発上皮性腫瘍と許容する生体内微小環境とその制御 | 岩月 啓氏 | 皮膚科 | 1,800 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |
| ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の獲得耐性のメカニズムの解明—その克服に向けて | 藤井 一恭 | 皮膚科 | 2,730 | 補 文部科学省科学 委 研究費補助金 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(5/9)

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|-------|--------|-------------|-----------------------------|
| ヒトβデフェンシンのサイトカイン／ケモカイン産生誘導の決定領域 | 白藤 宜紀 | 皮膚科 | 千円 2,080 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| Th2環境が表皮角化細胞産生カクレインの発現および皮膚バリアに与える影響 | 森実 真 | 皮膚科 | 2,730 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| カプセル化神経幹細胞移植を用いた新しい脳卒中治療戦略 | 伊達 勲 | 脳神経外科 | 4,700 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| グリオーマに対する腫瘍溶解ウイルス療法における血管新生因子CYR61の発現影響 | 杉生 憲志 | 脳神経外科 | 1,200 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| もやもや病に対するVEGF遺伝子導入と骨髄幹細胞移植のダブル治療 | 徳永 浩司 | 脳神経外科 | 1,000 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| パーキンソン病はDBSで治るのか？：バイオマーカーによる治療効果予測と共に | 三好 康之 | 脳神経外科 | 1,200 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| グリオーマ動物モデルを用いたグリオーマ幹細胞ニッチと増殖・浸潤・血管新生の解明 | 市川 智継 | 脳神経外科 | 1,100 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| オンコリティックウイルス治療における腫瘍マイクロエンバインメントの調節 | 黒住 和彦 | 脳神経外科 | 1,500 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 脳深部刺激療法による損傷海馬の神経新生と神経回路再生 | 上利 崇 | 脳神経外科 | 1,500 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 頭部外傷に対する骨髄由来幹細胞動注療法 | 菱川 朋人 | 脳神経外科 | 1,000 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 蛋白質セラピー法と中性子捕捉療法による難知性がん治療法開発 | 伊達 勲 | 脳神経外科 | 1,000 | 補 厚生労働省科学研究費補助金 委 |
| 生活習慣病増悪フェーズの鍵分子「HMGB1」に対する分子標的抗体薬の臨床応用研究 | 伊達 勲 | 脳神経外科 | 500 | 補 厚生労働省科学研究費補助金 委 |
| 正常圧水頭症の疫学・病態と治療に関する研究 | 伊達 勲 | 脳神経外科 | 1,000 | 補 厚生労働省科学研究費補助金 委 |
| 発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究 | 伊達 勲 | 脳神経外科 | 1,000 | 補 厚生労働省精神・神経疾患研究開発費 委 |
| ミトコンドリア酸素需給バランスをリアルタイムで可視化できる手術用顕微鏡装置の開発 | 市川 智継 | 脳神経外科 | 500 | 補 科学技術振興機構研究成果最適展開支援事業 委 |
| 脳血管ステント留置部の経時的3次元的形態評価とその変化に関連する諸因子の分析 | 徳永 浩司 | 脳神経外科 | 1,000 | 補 先進医薬研究振興財団 委 |
| BDNF産生細胞株移植のてんかんモデルラットに対する影響—神経保護と神経新生について— | 安原 隆雄 | 脳神経外科 | 1,600 | 補 てんかん治療研究振興財団研究助成 委 |
| 虚血性神経細胞障害のミトコンドリア治療 | 森田 潔 | 麻酔科蘇生科 | 1,100 | 補 文部科学省科学研究補助金 委 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(6/9)

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|--------|--------|-----------|----------------------|
| 肺移植後早期グラフト機能不全の発症における炎症性メディエーターの変動と診断的価値 | 五藤 恵次 | 麻酔科蘇生科 | 千円 500 | 補 文部科学省科学研究補助金 委 |
| 脳由来神経成長因子をターゲットにした癌性疼痛の遺伝子治療 | 溝渕 知司 | 麻酔科蘇生科 | 1,000 | 補 文部科学省科学研究補助金 委 |
| 急性肝不全に対する新しい治療ターゲット:Bach1 | 清水 裕子 | 麻酔科蘇生科 | 900 | 補 文部科学省科学研究補助金 委 |
| 難治性疼痛に対する仮想現実鏡治療の効果検証 | 佐藤 健治 | 麻酔科蘇生科 | 500 | 補 文部科学省科学研究補助金 委 |
| ステロイドに著効を呈す急性呼吸窮迫症候群を推定可能にするバイオマーカーの探索 | 西江 宏行 | 麻酔科蘇生科 | 2,300 | 補 文部科学省科学研究補助金 委 |
| ペースメーカーチャンネルの遺伝子多型を用いた神経因性疼痛の遺伝子治療 | 賀来 隆治 | 麻酔科蘇生科 | 900 | 補 文部科学省科学研究補助金 委 |
| インフルエンザ脳症など重症インフルエンザの発症機序の解明とそれに基づく治療法・予防方法に確率に関する研究 | 森島 恒雄 | 小児科 | 62,920 | 補 厚生労働科学研究費補助金 委 |
| B型肝炎の母子感染および水平感染の把握とワクチン戦略の再構築に関する研究 | 森島 恒雄 | 小児科 | 31,668 | 補 厚生労働科学研究費補助金 委 |
| 急性脳炎・脳症の病態解明及びそれに基づく治療法・予防方法の確立に関する研究 | 森島 恒雄 | 小児科 | 5,590 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究 | 森島 恒雄 | 小児科 | 13,889 | 補 厚生労働科学研究費補助金 委 |
| 早産低出生体重児の生体環境偏移の長期評価とその対策:「成人病胎児期発症説」の検証 | 塚原 宏一 | 小児科 | 1,560 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 遺伝性ネフローゼ症候群原因分子と相互作用する蛋白群の同定と発症機序の解析 | 綾 邦彦 | 小児科 | 1,300 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 小児ウイルス関連脳症におけるチオレドキシシン(レドックス制御)の役割 | 山下 信子 | 小児科 | 2,080 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 骨髄間葉系幹細胞のユースイング肉腫に対する抗腫瘍効果 | 宮村 能子 | 小児科 | 1,300 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 変異FGFR3と頭蓋形成異常の分子病態の解明:副甲状腺ホルモンの作用中心として | 長谷川 高誠 | 小児科 | 1,560 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 非致死性骨形成不全症の診断及び治療方法の更なる推進に関する研究 | 長谷川 高誠 | 小児科 | 19,500 | 補 厚生労働科学研究費補助金 委 |
| てんかんの診断と治療に関する戦略的医療についての研究 | 大塚 頌子 | 小児神経科 | 1,200 | 補 精神・神経疾患研究委託費 委 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(7/9)

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|-------|---------------|-----------|------------------------|
| 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究」 | 大塚 頌子 | 小児神経科 | 千円 400 | 補 厚生労働科学研究補助金 委 |
| 難治性疾患克服事業「乳幼児破局てんかんの実態と診療指針に関する研究」 | 小林 勝弘 | 小児神経科 | 800 | 補 厚生労働科学研究補助金 委 |
| 脳形成異常の成立機序の解明と治療法確立のための融合的研究 | 小林 勝弘 | 小児神経科 | 1,500 | 補 精神・神経疾患研究委託費 委 |
| 肺悪性腫瘍のラジオ波焼灼術のCT,MR,PET/CTによる評価の研究 | 金澤 右 | 放射線科 | 650 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 高度医療技術の効率化及び標準化の開発に関する研究 | 金澤 右 | 放射線科 | 1,000 | 補 厚生労働科学研究補助金 委 |
| 運動器疾患の評価と要介護予防のための指標開発および効果的介入方法に関する調査研究 | 千田 益生 | 総合リハビリテーション部 | 1,500 | 補 厚生労働科学研究費補助金 委 |
| 人工筋肉を用いた麻痺手を動かすシステムの実用化に関する研究 | 千田 益生 | 総合リハビリテーション部 | 4,940 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 卵母細胞とBMP分子による卵細胞間での機能連携メカニズムの解明とその応用 | 大塚 文男 | 内分泌センター | 500 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 表在性難治性膀胱癌に対する癌選択的膀胱注入治療薬の開発 | 渡部 昌実 | 遺伝子・細胞治療センター | 1,500 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 新規の抗癌免疫活性化タンパク質「REIC」の前立腺癌における作用機序の解明 | 渡部 昌実 | 遺伝子・細胞治療センター | 1,000 | 補 AKUA泌尿器科研究助成 委 |
| 緑色蛍光タンパク質発現ウイルス製剤による膀胱癌に対する新たな診断法の開発研究 | 賀来 春紀 | 遺伝子・細胞治療センター | 1,100 | 補 日本学術振興会科学研究費補助金 委 |
| マイクロRNA遺伝子制御ネットワークによるオートファジー細胞死誘導機構の解明 | 田澤 大 | 遺伝子・細胞治療センター | 1,820 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 炎症をターゲットとした糖尿病性腎症に対する新規治療法の開発 | 四方 賢一 | 新医療研究開発センター | 1,000 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 樹状細胞誘導能を示す新規抗腫瘍タンパクの基盤的展開研究 | 那須 保友 | 新医療研究開発センター | 3,800 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 歯肉上皮細胞における増殖因子による細胞接着因子制御のメカニズムの分子生物学的解明 | 山城 圭介 | 歯周科 | 1,560 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| RhoAによる細胞分化機構を応用した歯根膜細胞移植治療のための基礎的研究 | 山本 直史 | 歯周科 | 1,560 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 細胞骨格分子を介した歯根膜幹細胞の増殖・分化制御に関する研究 | 山本 直史 | 歯周科 | 300 | 補 財団法人両備禮園記念財団 委 |
| 発生メカニズムに立脚した生物学的歯根再生技術の開発 | 窪木 拓男 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 21,450 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(8/9)

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|---|-------|---------------|-------------|--------------------|
| 三叉神経ニューロンの過敏化に対する新規治療法の開発 | 松香 芳三 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 千円 7,150 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 部位特異的な組織再生誘導を実現する多機能性インプラント | 前川 賢治 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 6,760 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 高脂血症治療薬;スタチンを応用した象牙質形成促進作用を持つ新規覆髄材の開発 | 岡本 洋介 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 2,080 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 分子イメージングとバイオマーカー探索による慢性筋痛の局所病態解析 | 小野 剛 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 1,300 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 組織幹細胞を用いた歯関連組織の分化メカニズムの解明とその応用 | 園山 亘 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 8,190 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 歯胚発生におけるHox遺伝子の発現パターンと機能解析 | 内部 健太 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 1,508 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 歯の再生医療システムに向けた基盤技術の開発 | 窪木 拓男 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 2,600 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 口腔インプラントは在宅・介護現場における要介護高齢者の口腔ケアの妨げになる? | 荒川 光 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 1,170 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| モノアミン遺伝子多型よりみた睡眠時ブラキシズムの素因に関する分子遺伝学的研究 | 水口 一 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 1,300 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 新規間葉系幹細胞のヒト幼弱智歯歯胚からの分離と象牙質再生への応用 | 完山 学 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 1,300 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| インプラント周囲炎の早期診断ならびに新規治療法の開発 | 窪木 拓男 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 2,470 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| BMPアンタゴニストの制御による歯槽骨増成促進方法の開発 | 藤澤 拓生 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 1,560 | 補委 文部科学省科学研究費補助金 |
| 実験的再生歯の臨床応用に関する研究 | 窪木 拓男 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 12,600 | 補委 厚生労働科学研究費補助金 |
| 歯の再生に利用可能なヒトを含む大型動物からの細胞シーズの探索と歯根の再生技術の開発 | 窪木 拓男 | 補綴科(クラウンブリッジ) | 15,000 | 補委 株式会社オーガンテクノロジーズ |
| 顎骨嚢胞内溶液の破骨細胞活性化作用に関する分子メカニズムの解明 | 飯田 征二 | 口腔外科(再建系) | 1,300 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 新規コーティング材による歯科チタンインプラント骨結合能の三次元解析 | 高木 慎 | 口腔外科(再建系) | 910 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 4次元構音器官モデルの作成と口蓋裂言語への応用 | 三島 克章 | 口腔外科(再建系) | 5,070 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| カオス理論を応用した口唇口蓋裂患者の口唇運動・言語機能統合診断法の開発 | 三島 克章 | 口腔外科(再建系) | 1,500 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(9/9)

| 研究課題名 | 研究者氏名 | 所属部門 | 金額 | 補助元又は委託元 |
|--|-------|-------------|-------------|-------------------------------------|
| βデフェンシンを指標としたシェーグレン症候群の高感度遺伝子診断法の開発 | 水川 展吉 | 口腔外科(再建系) | 千円 2,990 | 補 文部科学省科学研究費助成金 委 |
| 幹細胞間相互作用システムを応用した骨芽細胞ゲルおよび疑似骨髄モデルによる骨再生 | 山近 英樹 | 口腔外科(再建系) | 910 | 補 文部科学省科学研究費助成金 委 |
| パールカンーSHH相互作用を介した細胞外環境による歯根形態形成制御機構の解明 | 松村 達志 | 口腔外科(再建系) | 1,300 | 補 文部科学省科学研究費助成金 委 |
| 口腔癌における dynamic CE-MRI を用いたリンパ節転移の潜在性の評価 | 此内 浩信 | 歯科放射線・口腔診断科 | 1,040 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 顎関節関節円板片側転位と習慣性咀嚼側に相関はあるか | 柳 文修 | 歯科放射線・口腔診断科 | 650 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| DHNAを用いた新規骨粗鬆症治療法の開発 | 村上 純 | 歯科放射線・口腔診断科 | 1,040 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 新規熱ショックタンパク質阻害剤 KNK437による、悪性腫瘍血管新生阻害作用に関する研究 | 村上 純 | 歯科放射線・口腔診断科 | 1,300 | 補 独立行政法人 科学技術振興機構 (JST) A-STEP 委 |
| 障害者歯科におけるEBM確立を目的としたクリニカルパス開発および利用に関する研究 | 宮脇 卓也 | 歯科麻酔科 | 3,010 | 補 厚生労働科学研究費補助金 委 |
| 鎮静・催眠からの回復促進効果に対するアデニン受容体の関与 | 宮脇 卓也 | 歯科麻酔科 | 1,560 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 口腔内炎症モデルでの視床下部-下垂体-副腎皮質系と脳内サイトカインの反応について | 前田 茂 | 歯科麻酔科 | 1,300 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 急性期歯周病患者、全身疾患有病者に対する歯周治療が酸化ストレスに及ぼす影響 | 玉木 直文 | 予防歯科 | 2,470 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |
| 不正咬合とストレスおよび自律神経バランスの関係 | 竹内 倫子 | 予防歯科 | 1,040 | 補 文部科学省科学研究費補助金 委 |

小計 12 件

合計 154 件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1/13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|------------|--------------|
| Gastroenterology. 2010 Nov;139(5):1503-1510. | The presence of large serrated polyps increases risk for colorectal cancer. | Hiraoka S | 消化器内科 |
| World J Gastroenterol. 2010;16(37):4661-4669. | Endoscopic features and prognoses of mantle cell lymphoma with gastrointestinal involvement. | Yamamoto K | 消化器内科 |
| Digestive and Liver Disease. 2010;42:210-215. | Clinical features of autoimmune hepatitis diagnosed based on simplified criteria of the International Autoimmune Hepatitis Group. | Miyake Y | 消化器内科 |
| Aliment Pharmacol Ther. 2010 Feb 1;31(3):407-414. | Evolution of prognostic factors in hepatocellular carcinoma in Japan | Nouso K | 消化器内科 |
| Am J Respir Crit Care Med 183(1):139-140,2011 | Prednisolone ameliorates idiopathic pulmonary arterial hypertension | Fujii N | 血液・腫瘍内科 |
| J Clin Oncol 28(20):3299-3306,2010 | Phase III trial comparing docetaxel and cisplatin combination chemotherapy with mitomycin, vindesine, and cisplatin combination chemotherapy with concurrent thoracic radiotherapy in locally advanced non-small-cell lung cancer:OLCSG 0007 | Kiura K | 呼吸器・アレルギー内科 |
| Nephrol Dial Transplant 25(5):1479-1488,2010 | Effects of icodextrin peritoneal dialysis solution on the peritoneal membrane in the STZ-induced diabetic rat model with partial nephrectomy. | Nakao K | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 |
| Biochim Biophys Acta 1802(2):240-246,2010 | Sensitization to alloxan-induced diabetes and pancreatic cell apoptosis in acatalasemic mice. | Sugiyama H | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 |
| Atherosclerosis 211(2):399-403,2010 | Total lymphocyte deficiency attenuates Ang II-induced atherosclerosis in males but not abdominal aortic aneurysms in apoE deficient mice. | Uchida HA | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 |
| Clinical Immunology 136(3):447-455,2010 | Differential expression of glycogens in tonsillar B lymphocytes in association with proteinuria and renal dysfunction in IgA nephropathy. | Sugiyama H | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 |
| Intern Med 49:2247-2252,2010 | Fabry disease exhibiting recurrent stroke and persistent inflammation. | Sugiyama H | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 |
| Exp Clin Endocrinol Diabetes 118(5):320-324,2010 | Comparison of insulin detemir and insulin glargine on glycemic variability in patients with type 1 and type 2 diabetes. | Wada J | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 |
| Arthritis Research and Therapy 12(4):133,2010 | Increased activity and expression of histone deacetylase 1 in relation to tumor necrosis factor-alpha in synovial tissue of rheumatoid arthritis. | Kawabata T | 腎臓・糖尿病・内分泌内科 |
| Heart Rhythm. 2010;7(2):218-24. | Atrial electrophysiological and structural remodeling in high-risk patients with Brugada syndrome: assessment with electrophysiology and echocardiography. | 杜 徳尚 | 循環器内科 |
| Europace. 2010 Apr;12(4):544-52. | Abnormal restitution property of action potential duration and conduction delay in Brugada syndrome: both repolarization and depolarization abnormalities. | 西井 伸洋 | 循環器内科 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2/13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|---------|-------|
| Heart Rhythm. 2010 Jun;7(6):820-7. | Genotype-phenotype correlation in tissue models of Brugada syndrome simulating patients with sodium and calcium channelopathies. | 森田 宏 | 循環器内科 |
| Heart Rhythm. 2010 Sep 15. 7; 1808-1814 | Fragmented QRS is associated with torsades de pointes in patients with acquired long QT syndrome. | 森田 宏 | 循環器内科 |
| Journal of the American College of Cardiology. 2010;56:2143-2145 | Electroanatomical correlation of repolarization abnormalities in brugada syndrome: Detection of type 1 electrocardiogram in the right ventricular outflow tract. | 永瀬 聡 | 循環器内科 |
| Autophagy 6: 1107-1114, 2010 | In vivo imaging of autophagy in a mouse stroke model. | Abe K | 神経内科 |
| J.Cerebral Blood Flow & Metabolism 30: 1487-1493, 2010 | Tridermal tumorigenesis of induced pluripotent stem cells transplanted in ischemic brain. | Abe K | 神経内科 |
| Intern Med. 49: 1213-1216, 2010 | A case of familial amyloid polyneuropathy due to Phe33Val TTR with vitreous involvement as the initial manifestation. | Abe K | 神経内科 |
| J Neurosci Res. 88: 3488-3497, 2010 | In vivo optical imaging of early-stage apoptosis in mouse brain after transient cerebral ischemia. | Abe K | 神経内科 |
| Neurol Res. 32: 472-475, 2010 | Familial amyloid polyneuropathy (Finnish type) presenting multiple cranial nerve deficits with carpal tunnel syndrome and orthostatic hypotension. | Ikeda Y | 神経内科 |
| Nature 465: 223-226, 2010 | Mutations of optineurin in amyotrophic lateral sclerosis. | Abe K | 神経内科 |
| J Neurosci Res 88: 1804-1811, 2010 | Induction of parkinsonism-related proteins in the spinal motor neurons of transgenic mouse carrying a mutant SOD1 gene. | Abe K | 神経内科 |
| J Neurosci Res. 88: 3547-3554, 2010 | Amyloid β accelerates phosphorylation of tau and neurofibrillary tangle formation in an amyloid precursor protein and tau double-transgenic mouse model. | Abe K | 神経内科 |
| J Neurosci Res, 88: 2197-2206, 2010 | Antiapoptotic and antiapoptotic effects of glial cell line-derived neurotrophic factor and hepatocyte growth factor after transient middle cerebral artery occlusion in rats. | Abe K | 神経内科 |
| Intern Med. 49: 2409-2414, 2010 | Prevalence of autosomal dominant cerebellar ataxia in Aomori, the northernmost prefecture of Honshu, Japan. | Ikeda Y | 神経内科 |
| J Neurol Sci. 296: 59-63, 2010 | A Japanese ALS6 family with mutation R521C in the FUS/TLS gene: a clinical, pathological and genetic report. | Ikeda Y | 神経内科 |
| Cell Transplant. 20: 883-91, 2011 | Tumorigenic Development of Induced Pluripotent Stem Cells in Ischemic Mouse Brain. | Abe K | 神経内科 |
| Cell Transplant. 20: 95-7, 2011 | Vascular protection and restorative therapy in ischemic stroke. | Abe K | 神経内科 |
| J Alzheimers Dis. 22: 225-234, 2010 | Decline of human tactile angle discrimination in patients with mild cognitive impairment and Alzheimer's disease. | Abe K | 神経内科 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(3/13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|-------------|-------|
| Brain Res. 1343: 143-152, 2010 | Temporal and spatial differences of multiple protein expression in the ischemic penumbra after transient MCAO in rats. | Abe K | 神経内科 |
| Curr Neurovasc Res. 7: 319-29, 2010 | Free radical scavenger edaravone administration protects against tissue plasminogen activator induced oxidative stress and blood brain barrier damage. | Abe K | 神経内科 |
| Brain. 133: 3043-57, 2010 | Prospective 10-year surveillance of human prion diseases in Japan. | Abe K | 神経内科 |
| J Neurosci Res. 89: 86-95, 2011 | Strong neurogenesis, angiogenesis, synaptogenesis, and antifibrosis of hepatocyte growth factor in rats brain after transient middle cerebral artery occlusion. | Abe K | 神経内科 |
| Brain Res. 1368: 317-23, 2011 | Synergistic benefit of combined amlodipine plus atorvastatin on neuronal damage after stroke in Zucker metabolic rat. | Abe K | 神経内科 |
| Brain Res. 1371: 161-70, 2011 | Atorvastatin and pitavastatin improve cognitive function and reduce senile plaque and phosphorylated tau in aged APP mice. | Abe K | 神経内科 |
| J Neurol Sci. 301: 100-3, 2011 | Serial diffusion-weighted MRI and SPECT findings in a Creutzfeldt-Jakob disease patient with V180I mutation. | Abe K | 神経内科 |
| Brain Res. 1370: 246-53, 2011 | Expression of Keap1-Nrf2 system and antioxidative proteins in mouse brain after transient middle cerebral artery occlusion. | Abe K | 神経内科 |
| Cancer Res 70(8): 3098-3108, 2010 | Somatic hypermethylation of MSH2 is a frequent event in lynch syndrome colorectal cancers. | Nagasaka T | 消化管外科 |
| Cancer Lett 293(2): 207-12, 2010 | The establishment of a new mouse model with orthotopic esophageal cancer showing the esophageal stricture. | Ohara T | 消化管外科 |
| PLoS One. 5(2): e9393, 2010 | An optimized pentaplex PCR for detecting DNA mismatch repair-deficient colorectal cancers. | Nagasaka T | 消化管外科 |
| Mol Cancer Ther. 9(6):1884-93, 2010 | Preclinical evaluation of differentially targeting dual virotherapy for human solid cancer. | Fujiwara T | 消化管外科 |
| Cancer Res. 70(22): 9339-48, 2010 | Telomerase-Dependent Oncolytic Adenovirus Sensitizes Human Cancer Cells to Ionizing Radiation via Inhibition of DNA Repair Machinery | Fujiwara T | 消化管外科 |
| Ann Surg. 251(6):1079-86, 2010 | In vivo biological purging for lymph node metastasis of human colorectal cancer by telomerase-specific oncolytic virotherapy | Fujiwara T | 消化管外科 |
| Histopathology 57(1):90-100, 2010 | Preferential up-regulation of heparanase and cyclooxygenase-2 in carcinogenesis of Barrett's oesophagus and intestinal-type gastric carcinoma. | Shirakawa Y | 消化管外科 |
| Int J Mol Med. 25(4): 493-503, 2010 | Autophagy: Can it become a potential therapeutic target? | Shirakawa Y | 消化管外科 |
| Cancer Gene Ther. 17(7):484-491, 2010 | Potent antitumor effects of combined therapy with a telomerase-specific, replication-competent adenovirus (OBP-301) and IL-2 in a mouse model of renal cell carcinoma | T Fujiwara | 消化管外科 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(4/13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|-------------|---------|
| Oncogene 29(8): 1145-1154, 2010 | A novel translational approach for human malignant pleural mesothelioma: heparanase-assisted dual virotherapy. | Fujiwara T | 消化管外科 |
| Oncol Rep. 23(6):1483-92, 2010 | HSP90 and its inhibitors. | Shirakawa Y | 消化管外科 |
| Clin Gastroenterol Hepatol 8(11):966-971, 2010 | Low frequency of Lynch syndrome among young patients with non-familial colorectal cancer | Nagasaka T | 消化管外科 |
| Cancer Res. 70(16):6609-6618, 2010 | Epigenetic silencing of miR-137 is an early event in colorectal carcinogenesis | Nagasaka T | 消化管外科 |
| Asian Journal of Surgery 33(4): 208-211, 2010 | Portal/splenic Vein Thrombosis Following Splenectomy in Gastric Cancer Surgery | Fujiwara T | 消化管外科 |
| Cancer Gene Ther. 17: 11-19, 2010 | Intraperitoneal administration of telomerase-specific oncolytic adenovirus sensitizes ovarian cancer cells to cisplatin and affects survival in a xenograft model with peritoneal dissemination. | Fujiwara T | 消化管外科 |
| Mol. Ther. 18: 429-34, 2010 | A phase I study of telomerase specific replication competent oncolytic adenovirus (Telomelysin) for various solid tumors. | Fujiwara T | 消化管外科 |
| Clin Immunol. 134(3): 345-353, 2010 | Advanced glycation end products enhance monocyte activation during human mixed lymphocyte reaction. | Sadamori H | 肝・胆・膵外科 |
| J Hepatobiliary Pancreat Sci. 17(5):719-24, 2010 | Aggressive combined resection of hepatic inferior vena cava, with replacement by a ringed expanded polytetrafluoroethylene graft, in living-donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma beyond the Milan criteria | Matsuda H | 肝・胆・膵外科 |
| J Hepatobiliary Pancreat Sci. 17(5):709-718, 2010 | Risk factors for major morbidity after hepatectomy for hepatocellular carcinoma in 293 recent cases | Sadamori H | 肝・胆・膵外科 |
| Pediatr Transplant 2010 | Successful treatment of unresectable advanced hepatoblastoma: Living liver transplantation after surgical removal of lung metastasis | Yagi T | 肝・胆・膵外科 |
| Br J Pharmacol. 160(6):1378-86, 2010 | Histamine inhibits adhesion molecule expression in human monocytes, induced by advanced glycation end products, during the mixed lymphocyte reaction. | Yagi T | 肝・胆・膵外科 |
| J Pharmacol Exp Ther. 334(3):964-72, 2010 | Prostaglandin E2 inhibits advanced glycation end product-induced adhesion molecule expression on monocytes, cytokine production, and lymphocyte proliferation during human mixed lymphocyte reaction. | Yagi T | 肝・胆・膵外科 |
| Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol. 382(2):151-8, 2010 | Effects of bupropion on the forced swim test and release of dopamine in the nucleus accumbens in ACTH-treated rats. | Yagi T | 肝・胆・膵外科 |
| Br J Surg. 97(6):934-44, 2010 | Preoperative estimation of remnant hepatic function using fusion images obtained by (99m) Tc-labelled galactosyl-human serum albumin liver scintigraphy and computed tomography. | Yagi T | 肝・胆・膵外科 |
| The Annals of Thoracic Surgery 89(5):1664-5, 2010 | Calcineurin inhibitor-related cholestasis complicating lung transplantation | 大藤 剛宏 | 呼吸器外科 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(5/13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|-------------|-------|
| The Annals of Thoracic Surgery 89(6):1773-9, 2010 | Suppression of inflammatory cytokines during ex vivo lung perfusion with an adsorbent membrane | 大藤 剛宏 | 呼吸器外科 |
| The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 140(3):e58-9, 2010 | Hemophagocytic syndrome: a rare but specific complication of lung transplantation | 大藤 剛宏 | 呼吸器外科 |
| 日本移植学会雑誌 45(5):487-493, 2010 | 肺移植における抗体関連型拒絶反応 | 三好 新一郎 | 呼吸器外科 |
| 日本胸部臨床 69:S40-44, 2010 | 肺気腫に対するvolume reduction surgery | 杉本 誠一郎 | 呼吸器外科 |
| Int J Urol 17:297-300, 2010 | Robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy in the Asian population: Modified port configuration and ultradissection | Araki M | 泌尿器科 |
| Osteoarthritis and Cartilage 19,222-232,2010 | Regulation of mechanical stress-induced MMP-13 and ADAMTS-5 expression by RUNX-2 transcription | Tetsunaga T | 整形外科 |
| Cell Transplantation 19,791-797,2010 | Bone Repair Using a Hybrid Scaffold of Self-Assembling Peptide PuraMatrix and Polyetheretherketone Cage in Rats. | Misawa H | 整形外科 |
| Eur Spine J 19,1643-1650,2010 | Clinical application of a pedicle nail system with polymethylmethacrylate for osteoporotic vertebral fracture. | Tanaka M | 整形外科 |
| Acta Med Okayama 64,293-297,2010 | Upper Lumbar Pedicle Screw Insertion Using Three-Dimensional Fluoroscopy Navigation:Assessment of Clinical Accuracy8. | Sugimoto Y | 整形外科 |
| Mod Rheumatol 20,637-639,2010 | Time-concentration profile of serum etanercept in Japanese patients with rheumatoid arthritis after treatment discontinuation before orthopedic surgery. | Nishida K | 整形外科 |
| J Orthop Res 28, 225-231, 2010. | GDF-5/7 and bFGF activate integrin alpha2-mediated cellular migration in rabbit ligament fibroblasts. | Furumatsu T | 整形外科 |
| Int J Biochem Cell Biol 42, 148-156, 2010. | Scleraxis and E47 cooperatively regulate the Sox9-dependent transcription. | Furumatsu T | 整形外科 |
| Biochem Biophys Res Commun 391, 1142-1147, 2010. | Anterior cruciate ligament-derived cells have high chondrogenic potential. | Furumatsu T | 整形外科 |
| Acta Med Okayama 2010, 64, 155-161. | Epigenetic regulation in chondrogenesis. | Furumatsu T | 整形外科 |
| Biochem Biophys Res Commun 2010 402, 329-334. | Combined use of bFGF and GDF-5 enhances the healing of medial collateral ligament injury. | Furumatsu T | 整形外科 |
| Biochem Biophys Res Commun 391, 1142-1147, 2010. | Anterior cruciate ligament-derived cells have high chondrogenic potential. | Furumatsu T | 整形外科 |
| Acta Med Okayama 2010, 64, 351-357. | Histone acetylation influences the activity of Sox9-related transcriptional complex. | Furumatsu T | 整形外科 |
| Clin Rheumatol 29,637-643,2010 | Radiographic measurements in the evaluation and classification of elbow joint destruction in patients with rheumatoid arthritis. | Hashizume K | 整形外科 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(6/13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|------------|--------|
| 別冊整形外科 (0287-1645)59号 Page7-15 | 【運動器疾患に対する最小侵襲手術】人工関節 股関節 ナビゲーションシステムを併用した小皮切 人工股関節全置換術におけるカップ設置 | 遠藤 裕介 | 整形外科 |
| 形成外科 53:201-205, 2010 | 性同一性障害に対する包括的治療 | 難波 祐三郎 | 形成外科 |
| 頭頸部癌 36:309-315, 2010 | 頭頸部癌再建術後局所合併症に対する対応 | 小野田 聡 | 形成外科 |
| 整形外科 61:864-872, 2010 | 【骨・軟部腫瘍 先端的研究と臨床の現況】治療 手術的治療 骨・軟部肉腫の手術 皮弁による軟 部組織再建 | 木股 敬裕 | 形成外科 |
| リンパ学 33:31-35, 2010 | リンパ浮腫の外科的治療 岡山大学におけるリン パ浮腫治療の取り組み | 山田 潔 | 形成外科 |
| 日本マイクロサージャリー 学会誌 23:295-302, 2010 | 片側下肢リンパ浮腫における対側肢のインドシア ニンググリーン蛍光リンパ管造影所見の検討 | 長谷川 健二郎 | 形成外科 |
| The Journal of Dermatology. 2010: 37: 239-245. | What's new in i.v immunoglobulin therapy and pemphigus :High-dose I.v immunoglobulin therapy and its mode of action for treatment of pemphigus | Aoyama Y | 皮膚科 |
| Journal of Dermatological Science. 2010: 59: 170-175. | A prospective analysis of anti-desmoglein antibody profiles in patients with rheumatoid arthritis treated with thiol compounds | Iwatsuki K | 皮膚科 |
| Experimental Hematology. 2010: 38: 933-944. | Production of proinflammatory cytokines without of cytotoxic effects by an Epstein-Barr virus- infected natural killer cell line established from a patient with hypersensitivity to mosquito bites | Suzuki D | 皮膚科 |
| 日本皮膚科学会雑誌. 2010: 120: 815-839. | 膿疱性乾癬(汎発型)診療ガイドライン2010 TNF α阻害薬を組み入れた診療指針(簡略版) | 岩月 啓氏 | 皮膚科 |
| (書籍)2011年3月 発行 稀少難治性皮膚疾患に 関する調査研究班 作成 岩月、天谷、橋本、照 井、清水、池田 監修 山本、小宮根、谷川、青 山 編集 | 稀少難治性皮膚疾患に関する診療の手引き[第1 版] | 岩月 啓氏 | 皮膚科 |
| (書籍)2011年3月 発行 難治性血管炎に関する 調査研究班 作成 楨野、能勢 監修 岩月、勝岡、古川、川 上、佐田 編集 | 皮膚症状からみた血管炎診断の手引き 総論 血管炎の治療 各論 Wegener肉芽腫症 各論 主な鑑別疾患 | 岩月 啓氏 | 皮膚科 |
| Neuropathology 30: 372-380, 2010 | Pseudopolyneuritic form of ALS revisited: clinical and pathological heterogeneity | Yokota O | 精神科神経科 |
| Acta Neuropathologica 120: 55-66, 2010 | Phosphorylated TDP-43 pathology and hippocampal sclerosis in progressive supranuclear palsy | Yokota O | 精神科神経科 |
| Neuropathology 30:159-64, 2010 | An autopsy case of Creutzfeldt-Jakob disease with a V180I mutation of the PrP gene and Alzheimer- type pathology | Terada S | 精神科神経科 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(7/13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|-------------|-------|
| Neurologia medico-chirurgica 50(9):788-799, 2010 | Symptomatic unruptured cerebral aneurysms: Features and surgical outcome. | Date I | 脳神経外科 |
| Neurosurgery 67(ONS Suppl 1): ons189-197, 2010 | Percutaneous balloon angioplasty for acute occlusion of intracranial arteries. | Tokunaga K | 脳神経外科 |
| Journal of Neurosurgery 113:890-896, 2010 | Assessment of necrotic core with intraplaque hemorrhage in atherosclerotic carotid artery plaque by MR imaging with 3D gradient-echo sequence in patients with high-grade stenosis. | Hishikawa T | 脳神経外科 |
| Epilepsy Research 88:139-144, 2010 | Detection of seizure-associated high-frequency oscillations above 500Hz. | Agari T | 脳神経外科 |
| Neurologia medico-chirurgica 50(6):449-455, 2010 | Optimal dose of plasmid vascular endothelial growth factor for enhancement of angiogenesis in the rat brain ischemia model. | Sugiu K | 脳神経外科 |
| Neurosurgery 66(1):158-164, 2010 | Effect of vasodilation by milrinone, a phosphodiesterase III inhibitor, on vasospastic arteries after a subarachnoid hemorrhage in vitro and in vivo: Effectiveness of cisternal injection of milrinone. | Ono S | 脳神経外科 |
| Brain Research 1310:200-207, 2010 | Exercise exerts neuroprotective effects on Parkinson's disease model of rats. | Yasuhara T | 脳神経外科 |
| BMC Neuroscience 11:1-9, 2010 | Intravenous administration of mesenchymal stem cells exerts therapeutic effects on parkinsonian model of rats: Focusing on neuroprotective effects of stromal cell-derived factor-1 α . | Yasuhara T | 脳神経外科 |
| Stem Cells and Development 19:5-6, 2010 | Intravenous route of cell delivery for treatment of neurological disorders: a meta-analysis of preclinical results. | Date I | 脳神経外科 |
| Neurologia medico-chirurgica 50(11):961-965, 2010 | Retrospective survey of endovascular treatment for ruptured intracranial aneurysm in japan - Retrospective endovascular subarachnoid aneurysm treatment (RESAT) study-. | Sugiu K | 脳神経外科 |
| Mol Ther 18(2):285-294, 2010 | Enhanced antitumor efficacy of vasculostatin (Vstat120) expressing oncolytic HSV-1. | Kurozumi K | 脳神経外科 |
| BMC Neurosci 10:126, 2010 | Therapeutic targets and limits of minocycline neuroprotection in experimental ischemic stroke. | Yasuhara T | 脳神経外科 |
| Brain Research 1355:228-239, 2010 | Peri-hemorrhagic degeneration accompanies stereotaxic collagenase-mediated cortical hemorrhage in mouse. | Yasuhara T | 脳神経外科 |
| Journal of Neurosurgery 112: 1254-1259, 2010 | Slowly progressive neuronal death associated with postischemic hyperperfusion in cortical laminar necrosis after high-flow bypass for a carotid intercavernous aneurysm. | Hishikawa T | 脳神経外科 |
| 脳卒中 32(6):563-565, 2010 | 脳梗塞に対する電気刺激療法 | 安原 隆雄 | 脳神経外科 |
| 脳卒中 32(6):611-613, 2010 | 頸動脈プラークにおけるMPRAGE法と病理組織の比較検討 | 菱川 朋人 | 脳神経外科 |

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(8/13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|-------------|--------|
| 最新医学 65(2):214-218, 2010 | エビデンスに基づいた脳血管障害の外科治療 | 菱川 朋人 | 脳神経外科 |
| 機能的脳神経外科 49(1):66-67, 2010 | パーキンソン病モデルラットにおける病態を示すバイオマーカーとしての尿中8-OHdGの変化 | 上利 崇 | 脳神経外科 |
| Int J Mol Med 26:27-32,2010 | Role of heme oxygenase-1 in protection of the kidney after hemorrhagic shock | Arimori Y | 麻酔科蘇生科 |
| Pain Med 11:622-629,2010 | Nonimmersive virtual reality mirror visual feedback therapy and its application for the treatment of complex regional pain syndrome an open-label pilot study | Sato K | 麻酔科蘇生科 |
| J Perinatol. 2011 Jun;31(6):440-5 | Transmission of cytomegalovirus via breast milk in extremely premature infants. | Morishima T | 小児科 |
| Bone. 2010 Aug;47(2):256-62. | Fibroblast growth factor 23 concentrations in healthy term infants during the early postpartum period. | Morishima T | 小児科 |
| Microbiol Immunol. 2010 Jul;54(7):417-24. | Increase of tumor necrosis factor-alpha in the blood induces early activation of matrix metalloproteinase-9 in the brain. | Morishima T | 小児科 |
| J Med Virol. 2010 Aug;82(8):1410-5. | Comparison of the levels of human herpesvirus 6 (HHV-6) DNA and cytokines in the cerebrospinal fluid and serum of children with HHV-6 encephalopathy. | Morishima T | 小児科 |
| Clin Pediatr (Phila). 2010 Jun;49(6):574-8. | Elevation of serum transaminases with norovirus infection. | Morishima T | 小児科 |
| Pediatr Int. 2010 Jun;52(3):398-401. | Urinary N-telopeptides of type I collagen in healthy children. | Morishima T | 小児科 |
| Metabolism 59 (1): 107-113, 2010 | Altered metabolisms of mediators controlling vascular function and enhanced oxidative stress in asymptomatic children with congenital portosystemic venous shunt. | Tsukahara H | 小児科 |
| Early Hum Dev 86 (2): 69-70, 2010 | Asymmetric dimethylarginine, an endogenous NO synthase inhibitor, in human breast milk. | Tsukahara H | 小児科 |
| Mol Genet Metab 99 (4): 438, 2010 | Coupling of the citrulline recycling to endothelial NO production. | Tsukahara H | 小児科 |
| Pediatr Int 52 (2): 304-307, 2010 | Detection of cytomegalovirus in preserved umbilical cord from a boy with autistic disorder. | Tsukahara H | 小児科 |
| Mol Genet Metab 100 (2): 123-128, 2010 | Favorable effect of 4-phenylacetate on liver functions attributable to enhanced bile salt export pump expression in ornithine transcarbamylase-deficient children. | Tsukahara H | 小児科 |
| Epilepsy Res 91: 232-239, 2010 | Electroclinical characterization and classification of symptomatic epilepsies with very early onset by multiple correspondence analysis | Ohtsuka Y | 小児神経科 |
| Epilepsia 51: 1043-1052, 2010 | A long-term follow-up study of Dravet syndrome up to adulthood | Ohtsuka Y | 小児神経科 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(9/13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|-------------|--------------|
| Brain Dev 32: 435-441, 2010. | Characteristics of the synchronous occipital and frontopolar spike phenomenon in Panayiotopoulos syndrome | Yoshinaga H | 小児神経科 |
| Epilepsy Res 88: 139-144, 2010 | Detection of seizure-associated high-frequency oscillations above 500 Hz | Kobayashi K | 小児神経科 |
| Epilepsia 51: 2190-9194, 2010 | Scalp-recorded high-frequency oscillations in childhood sleep-induced electrical status epilepticus | Kobayashi K | 小児神経科 |
| Epilepsy Res 91: 143-152, 2010 | Genetic seizure susceptibility underlying acute encephalopathies in childhood | Kobayashi K | 小児神経科 |
| 産婦人科の実際 59:127-131,2010 | 胎内診断された先天性心疾患症例における分娩様式の検討 | 井上 誠司 | 産科婦人科 |
| 産婦人科の実際 60:631-636,2011 | 先天性心疾患児における出生時臍帯血液ガス分析と胎児心機能との関連性 | 井上 誠司 | 産科婦人科 |
| J Vasc Interv Radiol 21: 231-236,2010 | Single Application of Radiofrequency Ablation of Small Lung Metastases With a 2-cm Expandable Electrode: Determination of Favorable Responders. | Hiraki T | 放射線科 |
| 今日の整形外科治療指針 第6版 p330-334, 2010 | 関節可動域テスト・徒手筋力テスト、筋力増強訓練、ストレッチング。および 動作訓練とADL訓練 | 千田 益生 | 総合リハビリテーション部 |
| 関節外科 29 4月増刊号 p170-179, 2010 | 運動器疾患に対するリハビリテーション実施法 骨折: 上肢。 | 千田 益生 | 総合リハビリテーション部 |
| Osteoarthritis Update 3:26-32, 2010. | 変形性膝関節症の手術療法のタイミング | 千田 益生 | 総合リハビリテーション部 |
| ロコモティブシンドローム 診療ガイド p77-87, 2010. | バランス機能の低下。筋力の低下 | 千田 益生 | 総合リハビリテーション部 |
| 骨粗鬆症治療 9(3): 232-239, 2010 | 転倒・転落の予防と対策－運動療法 | 千田 益生 | 総合リハビリテーション部 |
| CLINICAL CALCIUM 20:560-566, 2010 | 加齢に伴う運動器の機能障害とリハビリテーション | 千田 益生 | 総合リハビリテーション部 |
| 関節外科 29(9):1021-1027, 2010. | 運動療法。変形性膝関節症の治療戦略 | 千田 益生 | 総合リハビリテーション部 |
| Acta Med Okayama 64:197-201, 2010 | Preoperative time required for the timed up and go test in women with hip osteoarthritis could predict a deep venous thrombosis complication after total hip arthroplasty. | 千田 益生 | 総合リハビリテーション部 |
| Acta Med Okayama 64(2): 109-113, 2010 | The effects of service dogs on the improvement of Health-Related Quality of Life. | 千田 益生 | 総合リハビリテーション部 |
| Biochemical and Biophysical Research Communications 402: 329-334, 2010 | Combined use of bFGF and GDF-5 enhances the healing of medial collateral ligament injury | 雑賀 建多 | 総合リハビリテーション部 |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(10 / 13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|---|-------------|--------------|
| Acta Med Okayama. 64(5):285-91, 2010 | Cancer of unknown primary site: a review of 28 cases and the efficacy of cisplatin/docetaxel therapy at a single institute in Japan. | Nishimori H | 輸血部 |
| 日本輸血細胞治療学会誌 Vol. 56 (2010), No. 5 p.639-644 | 日本輸血・細胞治療学会による「輸血業務に関する総合的アンケート調査」における細胞治療に用いる細胞の採取, 処理, 保管に関する2008年の現状 | 池田 和真 | 輸血部 |
| 日本輸血細胞治療学会誌 Vol. 56, No. 5 p.606- | 肺移植における血液製剤準備量と使用量 | 池田 和真 | 輸血部 |
| 医学教育 41(1) 51-53, 2010 | 岡山大学における医学科学生および医師を対象とした輸血検査実習 | 池田 和真 | 輸血部 |
| Digestion. 2010;81(4):218-222. | Does Pretreatment with Lansoprazole Influence Helicobacter pylori Eradication Rate and Quality of Life? | Inoue M | 光学医療診療部 |
| Regulatory Peptides 162:99-108,2010 | Simvastatin inhibits osteoclast differentiation induced by bone morphogenetic protein-2 and RANKL through regulating MAPK, AKT and Src signaling. | Otsuka F | 内分泌センター |
| Endocrinology 151 (3) : 1129-1141,2010 | Effects of bone morphogenetic protein(BMP)on adrenocorticotropin production by pituitary corticotrope cells: involvement of up-regulation of BMP receptor signaling by somatostatin analogs. | Otsuka F | 内分泌センター |
| Hypertension Research 33 (5) : 435-445,2010 | Involvement of the bone morphogenetic protein system in endothelin-and aldosterone- induced cell roliferation of pulmonary arterial smooth muscle cell isolated from human patients with pulmonary arterial hypertension. | Otsuka F | 内分泌センター |
| Molecular and Cellular Endocrinology 325 (1-2) :84-92,2010 | Functional relationship between fibroblast growth factor-8 and bone morphogenetic proteins in regulating steroidogenesis by rat granulosa cells. | Otsuka F | 内分泌センター |
| Molecular and Cellular Endocrinology 325 (1-2) : 118-127,2010 | Estrogen and glucocorticoid regulate osteoblast differentiation through the interaction of bone morphogenetic protein-2 and tumor necrosis factor- α in C2C12cells. | Otsuka F | 内分泌センター |
| Endocrinology 151 (11) :5506-5518,2010 | A Novel Antagonistic Effect of the Bone Morphogenetic Protein System on Prolactin Actions in Regulating Steroidogenesis by Granulosa Cells. | Otsuka F | 内分泌センター |
| J Breath Res 4:047103,2010 | An increase in exhaled CO concentration in systemic inflammation/sepsis | Morimatsu H | 周術期管理センター |
| Int J Oncol 37(6):1495-1501,2010 | Expression pattern of REIC/Dkk-3 in various cell types and the implications of the soluble form in prostatic acinar development. | Watanabe M | 遺伝子・細胞治療センター |
| Cancer Gene Ther 17: 484-491, 2010 | Potent antitumor effects of combined therapy with a telomerase-specific, replication-competent adenovirus(OBP-301)and IL-2 in a mouse model of renal cell carcinoma. | Kaku H | 遺伝子・細胞治療センター |
| Prostate Cancer Prostatic Dis 13(6):6-11,2010 | The role of caveolin-1 in prostate cancer: clinical implications. | Watanabe M | 遺伝子・細胞治療センター |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(11 / 13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|---|-------------|---------------|
| Int J Cancer 126:1562-1569, 2010 | Down-regulation of BiP/GRP78 sensitizes resistant prostate cancer cells to gene-therapeutic overexpression of REIC/Dkk-3. | Nasu Y | 新医療研究開発センター |
| Journal of Dental Research Jan;90(1):35-40,2010 | FGF-2 stimulates periodontal regeneration: results of a multi-center randomized clinical trial. | Takashiba S | 歯周科 |
| J Oral Rehabilitation 37:653-657, 2010 | The effect of clinical experience on dentine bonding effectiveness: students versus trained dentists | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| American Journal of Pathology 176:812-826, 2010 | Biglycan and fibromodulin have essential roles in regulating chondrogenesis and extracellular matrix turnover in temporomandibular joint osteoarthritis | Ono M | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Journal of Bone and Mineral Research 26:193-208, 2010 | WISP-1/CCN4 regulates osteogenesis by enhancing BMP-2 activity. | Ono M | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Oral Surgery Oral Medicine Oral Pathology Oral Radiology Endodontics 100:96-100, 2010 | The relationship between temporomandibular joint pathosis and muscle tenderness in orofacial and neck/shoulder region | Maekawa K | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Journal of Prosthodontic Research 54:36-41, 2010 | Gene expression profile of mouse masseter muscle after repetitive electrical stimulation | Ono T | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Oral Surgery Oral Medicine Oral Pathology Oral Radiology Endodontics 110:54-61, 2010 | Relationship between a chronically painful trapezius muscle and its metabolic state analyzed with PET/CT | Maekawa K | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Clinical Oral Investigations Epub, 2010 | Test-retest reliability of MRI-based disk position diagnosis of the temporomandibular joint | Maekawa K | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| International Journal of Prosthodontics 23:397-405, 2010 | A 15-year clinical comparative study of the cumulative survival rate of cast metal post-and-core and resin core restorations luted with adhesive resin | Matsuka Y | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Dental Materials 26:100-21, 2010 | Relationship between bond-strength tests and clinical outcomes | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Operative Dentistry 35:94-104, 2010 | Microtensile bond strength and interfacial characterization of 11 contemporary adhesives bonded to bur-cut dentin. | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Dental Materials 26:215-222, 2010 | Does a low-shrinking composite induce less stress at the adhesive interface? | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Dental Materials 26:524-532, 2010 | TEM characterization of a silorane composite bonded to enamel/dentin | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Journal of Oral Rehabilitation 37:525-531, 2010 | Impact of implant number, distribution and prosthesis material on loading on implants supporting fixed prostheses | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Dental Materials 26:643-649, 2010 | Hydrofluoric acid on dentin should be avoided | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Journal of Dental Research 89:1045-1050, 2010 | Filler Debonding & Subhybrid-layer Failures in Self-etch Adhesives | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(12 / 13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|---|--|-------------|---------------|
| Dental Materials 26:1068-1076, 2010 | Dynamic versus static bond-strength testing of adhesive interfaces | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Journal of Dentistry 38:921-929, 2010 | Towards a better understanding of the adhesion mechanism of resin-modified glass-ionomers by bonding to differently prepared dentin | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Acta Biomaterials 6:3573-3582, 2010 | Nano-controlled molecular interaction at adhesive interfaces for hard tissue reconstruction | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| International Journal of Prosthodontics 23:406-409, 2010 | The quasi-three-dimensional marginal leakage of full-coverage crowns: resin coating versus sodium hypochlorite treatment | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| European Journal of Oral Science 118:494-501, 2010 | Enzymatic degradation of adhesive-dentin interfaces produced by mild self-etch adhesives | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Journal of Dental Research 89:1505-1509, 2010 | Enamel-smear compromises bonding by mild self-etch adhesives | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| International Journal of Prosthodontics 23:566-573, 2010 | Effect of tilted and short distal implants on axial forces and bending moments in implants supporting FDPs | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Clinical Oral Investigations 14:569-577, 2010 | Immediate bonding effectiveness of contemporary composite cements to dentin | Mine A | 補綴科(クラウンブリッジ) |
| Mol Cell Biol 30(7):1673-1688, 2010 | Mammalian SWI/SNF-A subunit BAF250/ARID1 is an E3 ubiquitin ligase that targets histone H2B2. | Matsumura T | 口腔外科(再建系) |
| J Craniofac Surg 21(4): 1089-1095, 2010 | Nasolabial morphological changes after a Le Fort I osteotomy: a three-dimensional anthropometric study. | Mihsima K | 口腔外科(再建系) |
| Osteoporos Int 21(8):1437-47, 2010 | Suppressive effects of 1,4-dihydroxy-2-naphthoic acid administration on bone resorption. | Yamachika E | 口腔外科(再建系) |
| 日本口腔科学会雑誌 59: 128-132, 2010 | 鼻腔および上顎洞穿孔を伴う重度の上顎骨吸収をきたした骨膜下インプラントの1例. | 岸本, 晃治 | 口腔外科(病態系) |
| Anticancer Res 30: 2755-2787, 2010 | PTHrP Regulates Angiogenesis and Bone Resorption via VEGF Expression. | Shimo T | 口腔外科(病態系) |
| Anticancer Res 30: 2615-2623, 2010 | Bone Destruction by Invading Oral Squamous Carcinoma Cells Mediated by the Transforming Growth Factor- β Signaling Pathway. | Shimo T | 口腔外科(病態系) |
| PLoS One 5:online, 2010 | Ornithine Decarboxylase Antizyme Induces Hypomethylation of Genome DNA and Histone H3 Lysine 9 Dimethylation (H3K9me2) in Human Oral Cancer Cell Line. | Sasaki A | 口腔外科(病態系) |
| Mol Cancer Ther 9:2960-2969, 2010 | Anti-tumor Effect of Temsirolimus against Oral Squamous Cell Carcinoma Associated with Bone Destruction. | Shimo T | 口腔外科(病態系) |
| Anticancer Res 31: 1197-1204, 2010 | Antitumor Effect of Novel HSP90 Inhibitor NVP-AUY922 against Oral Squamous Cell Carcinoma. | Shimo T | 口腔外科(病態系) |
| Anticancer Res. 30:4773-4778, 2010 | A Multiple Primary Carcinoma of Leukoplakia and SCC: A Case Report with p53 Mutation Analysis. | Shimo T | 口腔外科(病態系) |

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(13 / 13)

| 雑誌名 | 題名 | 発表者氏名 | 所属部門 |
|--|--|-----------------|-------------|
| 日本口腔外科学会雑誌 56:720-724,2010 | 臼後部に発生した嚢胞腺癌の1例 | 岸本 晃治 | 口腔外科(病態系) |
| 岡山歯学会雑誌 29:107-112,2010 | 口腔癌切除後の創部に対してポリグリコール酸フェルトとフィブリン糊を併用した被覆法の使用経験. | 伊原木 聰一郎 | 口腔外科(病態系) |
| Oral Oncol. 47:147-52,2011. | Diagnostic value of dynamic contrast-enhanced MRI for unilocular cystic-type ameloblastomas with homogeneously bright high signal intensity on T2-weighted or STIR MR images. | Hisatomi M | 歯科放射線・口腔診断科 |
| Oral Radiology 26:110-115,2010 | The utility of three-dimensional dynamic contrast-enhanced magnetic resonance imaging in delineating vessel-rich regions: a case report of an aneurysmal bone cyst of the mandible | Yanagi Y | 歯科放射線・口腔診断科 |
| Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod. 110:364-9,2010 | Usefulness of MRI and dynamic contrast-enhanced MRI for differential diagnosis of simple bone cysts from true cysts in the jaw. | Yanagi Y | 歯科放射線・口腔診断科 |
| Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod. 109:e99-e104,2010 | A case of malignant fibrous histiocytoma of the maxillary sinus. | Yanagi Y | 歯科放射線・口腔診断科 |
| J Oral Maxillofac Surg 24: 146-147, 2010 | Partial Laryngospasms During General Anesthesia With a Laryngeal Mask Airway for Dental Treatment: A Report of 5 Cases. | Shigeru Maeda | 歯科麻酔科 |
| J Anesth 24: 146-147, 2010 | Sudden cardiac arrest in head and neck surgery: a case report. | Takuya Miyawaki | 歯科麻酔科 |
| Journal of Periodontal Research 45: 612-617, 2010. | Relationship between the prognosis of periodontitis and occlusal force during the maintenance phase—a cohort study. | Takeuchi N | 予防歯科 |
| Oral Diseases 16: 781-787, 2010. | Relationship between periodontal condition and arterial prosperities in an adult population in Japan. | Tomofuji T | 予防歯科 |

小計 10 件

合計 208 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

| | | | |
|---------|---|---|-------|
| 管理責任者氏名 | 病 院 長 榎野 博史 | | |
| 管理担当者氏名 | 総務課長 梶井 元善, 放射線部長 金澤 右, 薬剤部長 千堂 年昭, | 医事課長 白川 博章, 医療情報部長 太田 吉夫, 看護部長 保科 英子, | 各診療科長 |

| | | 保管場所 | 管理方法 |
|--|---|----------------------|--|
| 診療に関する諸記録 | | | カルテ等病歴資料は、外来・入院別に1患者1ファイル方式として保管している。 エックス線写真は、1患者1ファイル方式で保管している。 なお、カルテ等病歴資料はコンピュータによる集中管理を行っている。 |
| | 病院日誌 | 総務課 | |
| | 各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 | 各診療科 医療情報部 医事課 | |
| | 処方せん | 薬剤部 | |
| | エックス線写真 | 放射線部 | |
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 従業者数を明らかにする帳簿 | 総務課 | |
| | 高度の医療の提供の実績 | 医事課 | |
| | 高度の医療技術の開発及び評価の実績 | 総務課 | |
| | 高度の医療の研修の実績 | 総務課 | |
| | 閲覧実績 | 総務課 | |
| | 紹介患者に対する医療提供の実績 | 医事課 | |
| | 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿 | 医事課 薬剤部 | |
| 第規 一則 号第 一掲 条の る十 一 体 制 第 一 項 確 保 各 の 号 状 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 | 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | 医療安全管理部 | |
| | 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 医療安全管理部 | |
| | 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 医療安全管理部 | |
| | 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | 医療安全管理部 | |
| | 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | 総務課 | |
| | 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | 総務課 | |
| | 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | 医療安全管理部 | |
| | 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | 医事課 医療安全管理部 | |

| | | 保管場所 | 分類方法 |
|---|--|---|---------------------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況 | 院内感染のための指針の策定状況 | 感染制御部 |
| | | 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 総務課 医事課 |
| | | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 感染制御部 |
| | | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況 | 感染制御部 医事課 総務課 |
| | | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | 総務課 |
| | | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 薬剤部 |
| | | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | 薬剤部 |
| | | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部 |
| | | 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | 総務課 |
| | | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 医療機器安全管理室 |
| 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | 医療機器安全管理室 | | |
| 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 医療機器安全管理室 医療安全管理部 | | |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

| | |
|-------------|-------------------------------------|
| 閲覧責任者氏名 | 事務部長 小西 竹生 |
| 閲覧担当者氏名 | 総務課長 梶井 元善 |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 管理棟研究棟3階小会議室(病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧場所) |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

| | | | |
|-----------|--------|---|-----|
| 前年度の総閲覧件数 | 延 | 0 | 件 |
| 閲覧者別 | 医師 | 延 | 0 件 |
| | 歯科医師 | 延 | 0 件 |
| | 国 | 延 | 0 件 |
| | 地方公共団体 | 延 | 0 件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

| | | | |
|------|------------------------|----------|----------------------|
| 紹介率 | 82.2 % | 算定期間 | 平成22年4月1日～平成23年3月31日 |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数 | 17,425 人 | |
| | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数 | 24,022 人 | |
| | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 | 1,032 人 | |
| | D: 初診の患者の数 | 27,631 人 | |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

| | |
|---|--------------|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 | ㊦・無 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理に関する基本的な考え方 ・ 医療事故発生時の対応方法 ・ 各部門ごとの安全管理マニュアル ・ 患者からの相談への対応に関する基本方針 <p style="text-align: right;">他</p> | |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 | 年 1 2 回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故の防止及びその対策に関すること ・ 医療事故防止マニュアルの作成に関すること ・ 医療事故防止の教育・研修に関すること ・ その他医療事故の防止に関すること | |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 | 年 3 回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全の基本的考え方 2. 心肺蘇生法 あなたが救う大切な命 -心肺蘇生法とその改訂- 3. ①CT・MRI造影検査を安全に行うために ②MRIの安全管理 <p style="text-align: center;">※ その他, 医療安全講演会の実施：内服薬処方せんの記載方法に関する安全対策</p> | |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (㊦・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアルの整備 ・ インシデントレポートシステム ・ リスクマネジャーの配置 ・ 医療事故等調査委員会 ・ 院内相互チェックの実施 | |
| ⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 | ㊦ (2 名) ・無 |
| ⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 | ㊦ (1 名) ・無 |
| ⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 | ㊦・無 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (1 3) 名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療事故防止委員会の運営に関すること ・ 医療事故防止対策の立案に関すること ・ 医療事故・ニアミス報告の分析に関すること ・ その他医療事故の防止、医療の安全性の向上・医療の質の向上に関すること | |
| ⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 | ㊦・無 |

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

| | |
|--|------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況 | ㊦・無 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 院内感染対策に関する基本的な考え方 2) 委員会について 3) 感染制御部の業務内容 4) 院内感染対策のための職員教育及び研修 5) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 6) 院内感染発症時の対応に関する基本方針 7) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 8) その他当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 | |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況 | 年56回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染予防対策委員会 1回/月 計12回 ・ ICT全体会議 1回/月 計12回 ・ 感染制御部スタッフ会議 2回/月 計20回 以上3委員会は、それぞれ連携して以下の活動をする <ol style="list-style-type: none"> ① 耐性菌サーベイランス、侵襲的処置別感染症サーベイランス ② 感染予防対策立案と指導、マニュアルの管理 ③ 抗菌薬使用の管理 ④ ICTとの連携 ⑤ 重症感染症、特殊感染症の診断及び治療に関するコンサルテーション ⑥ 感染予防対策に関する教育及び研修の企画運営 ⑦ 針刺し、体液汚染事故に関するサーベイランスと事故への対応及び予防対策の立案指導 ⑧ その他医療従事者の感染予防と発症時の指導(結核、流行性疾患など) ⑨ 医療廃棄物の取り扱いの管理と指導、環境整備に関する管理と指導 ⑩ その他の感染予防対策上の問題への関与 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護部感染対策委員会 1回/月 計12回 手指衛生のコンプライアンスの測定と改善 感染防止の視点からの看護手順の作成 医療廃棄物の適切な処理の状況把握と指導 | |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況 | 年43回 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 全職員対象院内感染対策講習会 3回/年(同じ内容で2回ずつ計6回) <ol style="list-style-type: none"> ① 針刺し事故防止について、結核の院内感染予防とトリアージ診療、スタンダードプリコーション ② 抗菌薬の使用状況及びTDM、多剤耐性菌の検出状況、日本における多剤耐性菌の現状とスクリーニング検査 ③ 血管内留置カテーテルに関連した血流感染予防、手術部位感染予防 2) 新規採用者研修 1回/年 3) 中途採用者研修 3回/年 4) 主に看護師対象感染防止技術研修会 10回/年 〈内容〉感染予防対策に関する基本的な事項、Device関連の感染予防策、流行性疾患対策など 5) 部署別手指衛生教育 23回/年 〈内容〉手指衛生の重要性と方法 | |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (㊦・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> その年のスローガンを決め、強化をする。 平成22年度は、手指衛生のコンプライアンスの改善をスローガンとし、手指衛生コンプライアンスの測定と、アルコール手指消毒剤の使用状況の把握、手洗いの洗い残しチェック(グリッターバッグ使用)をするなど、手指衛生教育の充実を図った。 | |

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|---|-------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況 | ㊦・無 |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 | 年 2 回 |
| ・ 研修の主な内容： 平成 22 年 4 月 新規採用職員オリエンテーション - 医療事故防止について(薬剤部) - 平成 22 年 5 月 歯科研修医セミナー - 歯科診療で安全に薬を使用するために - | |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 | |
| ・ 手順書の作成 (㊦・無) ・ 業務の主な内容： ・ 医薬品の採用・購入に関すること ・ 医薬品の管理に関すること (麻薬を含む。) ・ 患者の持参薬歴情報等の収集, 処方せんの記載に関すること ・ 患者に対する与薬や服薬指導に関すること ・ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関すること ・ 他施設 (病院等, 薬局等) との連携に関すること ・ ICUにおける管理に関すること 実施状況については, 業務手順書に基づき, 各担当部署においてチェックリストを作成し, 定期的 (月 1 回程度) に実施状況の確認を行っている。 | |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (㊦・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 毎月, 業務手順書に基づき, 薬品情報室にて収集した情報を, 情報誌 (DI News) に掲載し, 各診療科, 中央診療施設, 看護部に配布し情報提供を行っている。 また, 重篤な情報は処方医宛にmailにて配信している。 | |

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

| | |
|--|-------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況 | ㊟・無 |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 | 年143回 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 定期研修<ol style="list-style-type: none">1. 人工心肺装置：体外循環装置の安全操作に関わる実技講習会の受講(学会主催のもの)2. 人工呼吸器：機器の取り扱いと注意事項について3. 血液浄化装置： 同 上4. 除細動装置： 同 上5. 閉鎖式保育器： 同 上6. X線テレビ装置の安全性（新規導入機器使用説明会）7. MR I 装置の安全性8. X線撮影装置の安全管理9. 放射線治療装置の安全管理10. 婦人科領域におけるRALS治療法（看護師対象）11. RALS線源交換及び線源強度公正方法（放射線技師対象）・ 新しい医療機器導入時の研修 | |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (㊟・無)・ 保守点検の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 人工心肺装置：定期点検(年1回), 日常点検(始業点検/終業点検)2. 人工呼吸器：定期点検(年2回), 使用前点検3. 血液浄化装置：定期点検(年2回), 使用前点検4. 除細動装置：定期点検(年2回)5. 閉鎖式保育器：定期点検(年2回)6. X線装置：定期点検(機種により年1～4回), 使用前点検7. 診療用放射線照射装置：定期点検(年2回) | |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | |
| <ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (㊟・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">輸液ポンプの使用状況を調査し、その結果を看護部師長会を通じてスタッフへ報告・周知することで使用状況の改善を図る。 | |